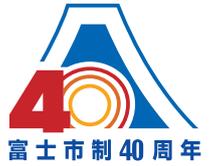


広報 **ふじ**

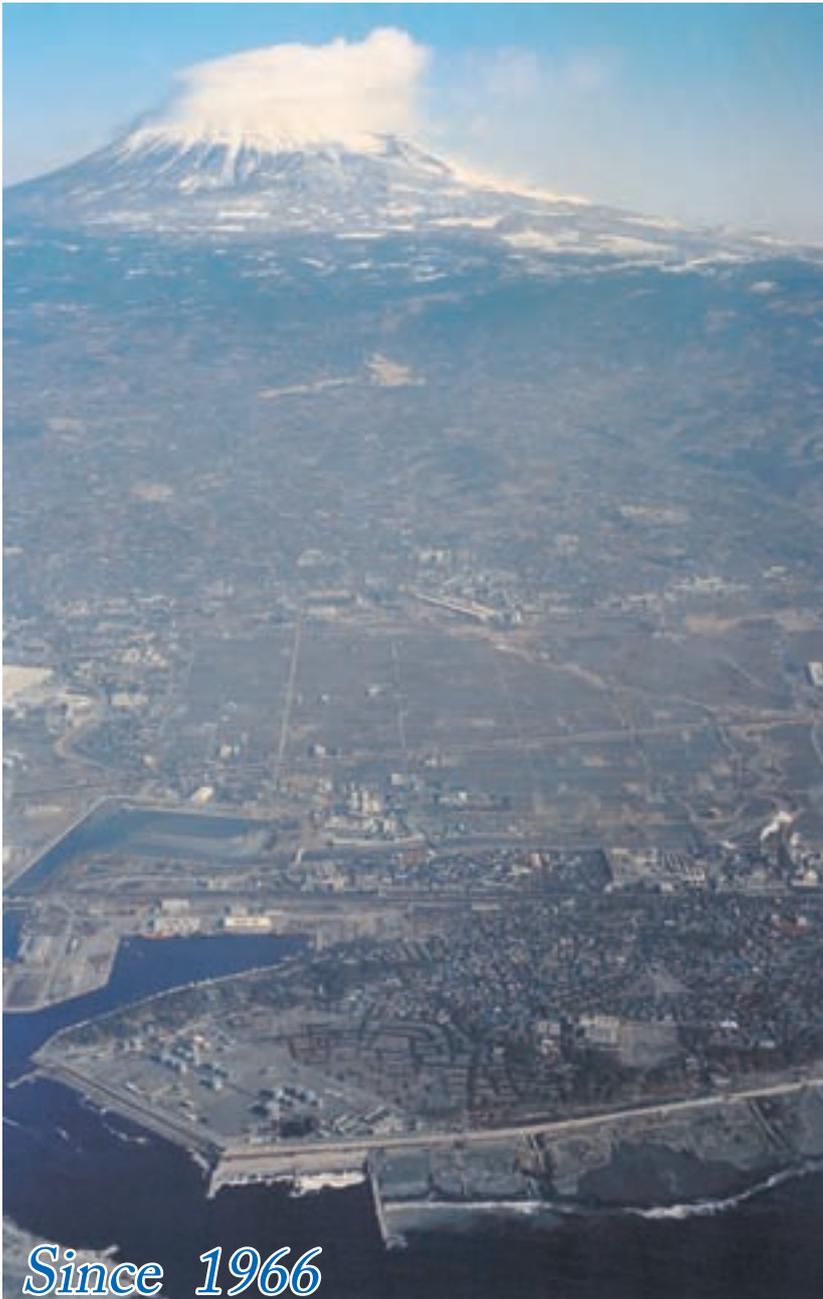


富士市制40周年

記念特集号

平成18年

10 | 5 No.903



Since 1966



富士まつり (富士本町)



完成直後の市庁舎 (昭和45年)



眺峰館 (吉原本町通り)

主な内容

富士市はことして40歳

名誉市民に齊藤滋与史氏

川口能活選手インタビュー

DMVでコンパクトな街づくり ほか

ねんりんピック静岡2006

10月28日(土)~31日(火)

29日(日)・30日(月) 水泳交流大会 (県富士水泳場)



おしえてコマルふじ

☎ 53-1111

富士市は

ことしで

40歳



▲昭和41年 2市1町合併調印式



▲昭和43年 東名富士インター開通



▲昭和59年 第1回富士市青少年の船
(望星丸二世)



▲平成8年 新市施行30周年記念式典



平成13年 消防防災庁舎完成▶



豊かな人生を謳歌できる都市を目指して



富士市長 鈴木 尚

昭和41年11月1日に吉原市・富士市・鷹岡町の2市1町の合併により、現在の富士市が誕生してから、ことしで40年の節目の年を迎えることとなりました。市民の皆様とともに心からお祝いをしたいと思います。

この間、激変する社会の中で、当市はさまざまな課題を抱えながらも、先人たちが知恵を重ね、これらを克服することで、目覚ましい発展を遂げ、今日の豊かな都市を築いてきました。ここに改めて、先輩諸氏と市民の皆様の熱意とご努力に感謝申し上げます。

さて、私は、市長就任以来、一貫して「元気あるまち、安全・安心なまち」に向けた取り組みを、市民・企業・行政の連携のもと進めてきました。地方の時代と言われる中で、今後もこれまでの基本姿勢を変えることなく、地域の将来を見据え、躍動感あふれるまちづくりを進めながら、「富士市に任んでよかった」と実感できる、「豊かな人生を謳歌できる都市、富士市」を目指し、市民の皆様とともに、輝く未来へ向け、チャレンジしていきたいと考えております。

今後とも、さらなる富士市発展のため、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

富士市は、ことしの11月1日に40歳を迎えます。
今回は、市制施行40周年の記念特集号。そこで、私たちの街富士市が歩んできた40年を、年表と写真で振り返ります。



昭和46年 田子の浦港へド口処理作業



昭和45年 富士市役所と街並み



昭和42年 市民歌発表会

- 昭和41年（1966年）
 - 11月1日、吉原市・富士市・鷹岡町が合併して新富士市が誕生
 - 新市の初代市長に齊藤滋与史氏が当選
- 昭和42年（1967年）
 - 新市の市章、市民歌が決まる
- 昭和43年（1968年）
 - 東名高速道路富士インターチェンジが開設される
- 市民の木「クスノキ」、市民の花「バラ」が市民の公募によって決まる
- 昭和44年（1969年）
 - 国鉄身延線が西回りに変更され、同時に複線化される
- 昭和45年（1970年）
 - 第2代市長に渡辺彦太郎氏当選
 - 4月1日に新市庁舎が開庁
- 富士川に工業用水専用の水管橋が完成
- 都市対抗野球で富士市代表の大昭和製紙チームが2度目の優勝
- 昭和46年（1971年）
 - 田子の浦港のヘド口処理作業開始
 - 富士市民を乗せた全日空機の遭難事故（雫石町）が発生
 - 工業製造品出荷額等が県下1位となる
- 昭和47年（1972年）
 - 第一清掃工場のごみ焼却プラントが完成
- 環境監視測定車「青空号」が稼動



昭和54年 ゲラティック号打ち上げ



昭和51年 公設地方卸売市場オープン



昭和50年 国道1号バイパス全線開通

- 昭和48年（1973年）
 - 公害防止の「富士503計画」がまとまる
- 市民プール（蓼原）がオープン
- 昭和49年（1974年）
 - 富士愛鷹山麓地域の大規模開発を規制
- ヘド口埋立地を利用した富士川緑地完成
- 七夕豪雨で市内に被害
- 昭和50年（1975年）
 - 人口20万人を突破
- 国道1号富士由比バイパス全線開通
- 昭和51年（1976年）
 - 市民総おどり「富士ばやし」発表
 - ロシアの軍艦ディアナ号のいかりが三四軒屋沖の海底から引き揚げられる
- 公設地方卸売市場がオープン
- 昭和52年（1977年）
 - 入山瀬公園にD51蒸気機関車を設置
- 浮島工業団地造成工事が完了
- 蓼原大橋が開通
- 昭和53年（1978年）
 - 世界で4番目の二重構造ブリッジ型溶岩洞穴が厚原で発見される（厚原風穴）
- 昭和54年（1979年）
 - 県立富士高校が甲子園に初出場
 - 台風20号により柏原海岸に外国の大型貨物船（ゲラティック号）が打ち上げられる



昭和60年 核兵器廃絶平和都市宣言



昭和57年 富士川鉄橋橋脚流失



昭和55年 富士市シルバー人材センター設立

- 昭和55年（1980年）齊藤滋与史氏が建設大臣に就任
- 県下初の高齢者事業団「富士市シルバー人材センター」設立
- 昭和56年（1981年）市立博物館がオープン
- 国際障害者年を記念して「第1回福祉まつり」を開催
- 昭和57年（1982年）松岡瑞林寺の延命地藏菩薩座像が国の重要文化財に指定される
- 台風10号により東海道本線下り富士川鉄橋の橋脚が流失
- 昭和58年（1983年）市民課窓口オンラインシステムを導入
- 富士市民憲章を制定
- 昭和59年（1984年）広見公園に「眺峰館」を移築復元
- 第1回「富士市青少年の船」を実施
- 彫刻のあるアーチ型の橋「潤井川大橋」が開通
- 市立中央病院が移転オープン
- 昭和60年（1985年）全国で初めての雨水調整ダム「片倉雨水貯留池」が完成
- 核兵器廃絶平和都市を宣言
- 昭和61年（1986年）田子の浦港に山部赤人の歌碑を建立
- 昭和62年（1987年）富士川治水3000年を記念して「第1回かりがね祭り」を開催
- 人口22万人を突破



平成14年 富士市フィルハーモニーオープン



平成11年 富士山こどもの国開園



平成8年 富士マリンスパオープン

- 平成8年（1996年）富士マリンスパオープン
- 新市施行30周年記念式典を開催
- 平成9年（1997年）地域防災無線システム稼働
- クリーンセンターききょうが竣工
- インターネットに富士市ホームページを開設
- 平成10年（1998年）市民創作ミュージカル「名残りの小袖」上演
- 平成11年（1999年）富士山こどもの国が開園
- 県道富士裾野線の今宮バイパスの一部が完成し供用開始
- 平成12年（2000年）人口24万人を突破
- 第1回静岡県市町村対抗駅伝競走大会で富士市チームが初代王者に
- 平成13年（2001年）富士地域2市1町、住民票の写しと印鑑登録証明書の相互交付を開始
- 消防防災庁舎が完成
- 特例市へ移行
- 天皇、皇后両陛下が市立富士体育館で行われた「ふれあい囲碁ゲーム静岡大会」を行幸啓
- 平成14年（2002年）第10代市長に鈴木尚氏当選
- 富士市フィルハーモニーがオープン
- 宇宙線天文学者の戸塚洋二氏、名誉市民第1号に



平成5年 ロゼシアターオープン



平成3年 皇太子殿下行啓



昭和63年 新幹線新富士駅開業

- 昭和63年（1988年）
 - 新幹線新富士駅が開業
 - 救急医療センターが開業
 - 保健婦人センターが開業
 - 昭和64・平成元年（1989年）
 - 中国浙江省嘉興市と友好都市を提携
- 平成2年（1990年）
 - 第7代市長に鈴木清見氏当選
 - 富士勤労者総合福祉センター「ラ・ホール富士」が完成
- 平成3年（1991年）
 - 東部浄化センターが通水
 - 「富士サンバ」を発表
 - 市立富士体育館が完成
- 全国高等学校総合体育大会バドミントン競技会場の市立富士体育館に、皇太子殿下が行啓
- アメリカカリフォルニア州オーシヤンサイド市と姉妹都市を提携
- 平成4年（1992年）
 - 曾我兄弟八百年祭を開催
- 平成5年（1993年）
 - 看護専門学校が開校
- 人口23万人を突破
- ロゼシアターがオープン
- 平成6年（1994年）
 - 合唱つきピアノコンチェルト「見よ西風からの富士」発表
- 吉原市民会館が閉館
- 広見公園に友好の像「プチャーチン提督と日本の漁夫」が完成
- 平成7年（1995年）
 - 中央図書館が開館
 - 富士駅南口広場人工地盤が完成



平成17年 富士市コールセンター開設



平成15年 NEW!!わかふじ国体開催



平成14年 名誉市民第1号 戸塚洋二氏

- 平成15年（2003年）
 - 第12回ばら制定都市会議（バラサミット）開催
 - NEW!!わかふじ国体夏季・秋季大会開催。富士市では県富士水泳場で競泳・飛込競技、市立富士体育館で少年男子バレーボール競技を行う
- 平成16年（2004年）
 - 富士市民センターが閉館
 - 故・いかりや長介さんの功績をたたえ、富士市民感謝状贈呈
- 市立吉原商業高校のチャレンジショップ「吉商本舗」が吉原本町通りにオープン
- 旧藤田邸を活用する「富士芸術村」がオープン
- 平成17年（2005年）
 - 富士市コールセンター「おしえてコールふじ」開設
 - ラクロス吉原内に富士市民活動センターがオープン
 - 富士コミュニティエフエム放送局「Radio-f」開局
- 富士市役所がISO14001の認証を取得
- 子どもの安全を守るための緊急集会を開催、毎月15日を「子どもの安全を守る市民行動の日」として決定
- 平成18年（2006年）
 - インターネットで公共施設空き情報照会サービスと、一部公共施設の利用予約サービスを開始
 - 市制施行40周年記念式典開催

名誉市民に

齊藤 滋与史氏



さいとう しげよし
齊藤 滋与史氏

大正7年8月9日生 88歳

富士市比奈在住

主な経歴

- ◆昭和39年～41年 吉原市長
- ◆昭和41年～44年 富士市長
- ◆昭和44年～61年 衆議院議員
 - ・昭和49～50年 国土政務次官
 - ・昭和51年 労働政務次官
 - ・昭和55～56年 国務大臣・建設大臣
- ◆昭和61年～平成5年 静岡県知事

受賞歴

- ◆昭和35年 日本赤十字社金色有功章
- ◆昭和35年 紺綬褒章
- ◆昭和40年 紺綬褒章飾版
- ◆昭和63年 勲一等瑞宝章
- ◆平成8年 富士市長表彰 (特別地方自治)

名誉市民とは

富士市民、または富士市に特に関係が深い人で、産業・学術・技芸などにより、市勢の興隆と社会文化の進展に貢献し、もしくは富士市の功労者として、その事績が特にすぐれ、住民の尊敬の的と仰がれる人に名誉市民の称号を贈り、顕彰します。

9月11日の市議会で、名誉市民の称号を初代市長の齊藤滋与史氏に贈ることが決まりました。

名誉市民は、素粒子物理学者の戸塚洋二氏に次いで、2人目となります。11月1日に行う市制施行40周年記念式典の中で、名誉市民章の贈呈を行います。

昭和41年、吉原市長であった齊藤氏は、将来の郷土の発展と市民福祉の向上を見据え、英断を持って、2市1町の合併を実現させました。

その後、新生富士市の初代市長に就任し、人の和を基調とした地域の発展と、新しい都市の基盤づくりに尽力され、現在の富士市の礎を築かれました。昭和44年に衆議院議員に初当選し、6期16年余りにわたり、国政に参画しました。この間、建設大臣などの要職を歴任し、国政の発展や国民の福祉向上に力を尽くされました。昭和61年には、静岡県知事に就任し、2期7年にわたり、卓越した政治手腕を発揮しました。

常に郷土の発展と地域福祉の向上を願って

静岡空港、富士山こどもの国、小笠山総合運動公園の建設など21世紀に向けた県土発展に寄与しました。

特に、勢子辻地区に設置された富士山こどもの国は、次代を担う子どもたちが自然とのふれあいを通じ、情操豊かな人間性を育てる場となり、地元にとって有益な施設となっています。

このように、常に郷土の発展と地域住民の福祉向上を願い、高い識見と豊かな経験をもとに、富士市発展のために尽力されました。齊藤氏の功績は誠に多大で、多くの人々から厚い信望と尊敬を一身に集めています。

富士市天間出身 プロサッカー選手

川口能活さん

よしかつ

現在、Jリーグジュビロ磐田

に所属し、日本代表選手としても活躍する、富士市出身の川口能活選手。気迫のこもったプレーで、私たちに感動を与えてくれています。

市制施行40周年記念号となる今回、川口さんに、富士市にいたころの思い出などをインタビューしてきました。



小さいころの思い出

小さいころは、ガキ大将で、近所の子どもを引っ張っていくような子どもでした。天神さんと呼ばれている、近所の天満宮でよく遊びましたよ。学校から帰ってくると、そこへ行って近所の友だちと一緒にキックベースボールや野球をしました。天神さんの境内の裏にある湧き水を飲んだり、セミやカエルをとったりもしましたね。

毎年8月24・25日に行われる天神さんの祭りによく行き、子どもの相撲大会に友だちと参加していました。参加するともらえるプラモデルが欲しくて…。勝つと、負けた人より大きいものがもらえたんですよ（笑）。

サッカーは人生そのもの

サッカーを始めたのは小学校3年生のとき。そのころはやっていたアニメ「キャプテン翼」の影響と、兄の「サッカーを始めたら」という一言で、天間サッカースポーツ少年団（現在の鷹岡天間サッカースポーツ少年団）に入りました。少年団に入った当初は、余り熱心とは言えず、練習をさぼることもありましたが、でも先生に厳しく指導されるうちに、サッカーに魅せられていきました。



初めは、いろいろなポジションでプレーをしていましたが、試合には出られませんでした。あるとき、ゴールキーパーが試合に来なくて、代わりに自分が出場する機会を得ました。その試合でうまくできたことが、ゴールキーパーとしての始まりでした。

富士川の河川敷でよく試合をしました。サッカー場のそばにテントを張って、チームみんなでお弁当を食べたのも楽しい思い出です。それに、河川敷から見た富士山も心に残っています。特に、晴れた日に見える富士山は本当にすばらしいですよ。

富士市でサッカーを始めた自分が、プロとして、また日本代表としてサッカーをやっているなんて、考えもありませんでした。今は、サッカーをできることが喜びですね。これまで、サッカーを通じて

故郷である富士市

富士市は自分が生まれた街です。自分がどこでプレーしているても、富士市出身だという気持ちはいつも持っています。

ことしドイツで開催されたワールドカップで、富士市の皆さんが熱い応援をしてくれたことはとてもうれしかったですね。

今後も、富士市の皆さんに、喜びや感動をもっと与えられるよう、頑張りたいと思います。

▼劇「かさじぞう」を行った誕生会（左）



▲応援団長を務めた小学6年の運動会（左）

DMVで

コンパクトな街づくり



道路を走るタイヤとレールを走る車輪を両方備えるDMV



DMVは、富士駅〜新富士駅間の接続をはじめ、市内東西方向に継ぎ目のない公共交通を構築できる交通システムです。

現在、市はその導入に向けた検討を進めています。

市制施行40周年を迎える今年度、市はDMVのデモ走行を計画しています。

今、街で何が起きているのか

富士市の現状

① 高い自動車への依存

富士市は、一世帯当たりの自動車保有台数が全国で20位程度という「自動車の街」です。

② 公共交通の低迷

路線バスの利用者は、昭和43年をピークに減り続けています。昨年は10年前の40%程度まで減少しました。

③ 分散した街のつくり・構造

富士市は、2市1町が合併した経緯もあり、公共施設や住宅、人が集まる施設などが点在しています。

「交通」と「街づくり」

このままでよいのでしょうか。皆さんは、車がなければ快適な生活ができないような街をどう思いますか？

市は、高齢者や車を運転できない人たちも、安全で快適に生活できるようにしていくことが大切だと考えます。高齢社会を迎えた今、これまでの自動車中心の交通体系のままでよいのか、見直していく時期にきています。

「交通」と「街づくり」という、両方の視点が必要となっています。

街づくりの方向性

市は、住みやすい街を目指し、人を中心に、自動車・公共交通・自転車・徒歩など、複数の交通手段を状況に応じて選択できるようなバランスのとれた交通体系をつくりまします。

① 自動車依存からの脱却

現在、市民の交通手段は自動車に偏り過ぎています。自動車にかわる交通手段となる公共交通を重視した施策を展開し、自動車依存からの脱却を図ります。

② 公共交通の利便性の向上

第一段階として、バスの利便性を向上させます。市中心部でのバス路線を

充実させるため、この秋から、「中心部循環バス」の運行を行います。その結果を検証した上でDMVを導入し、公共交通をより便利にしていきます。

③ コンパクトな街づくり

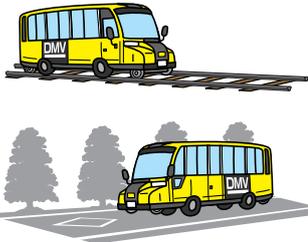
車に依存せざるを得ない、現在の都市構造を少しずつ元に戻そうと考えています。街の中心を魅力的な空間にし、人々が集まるよう、生活するのに便利で安全な「コンパクトな街」をつくりまします。

コンパクトな街をつくるために、街全体で公共交通を充実させることが、今、強く求められています。

DMVって？

DMV（デュアル・モード・ビークル）は、JR北海道が開発している、道路と線路の両方を走ることができる両用車のこと。

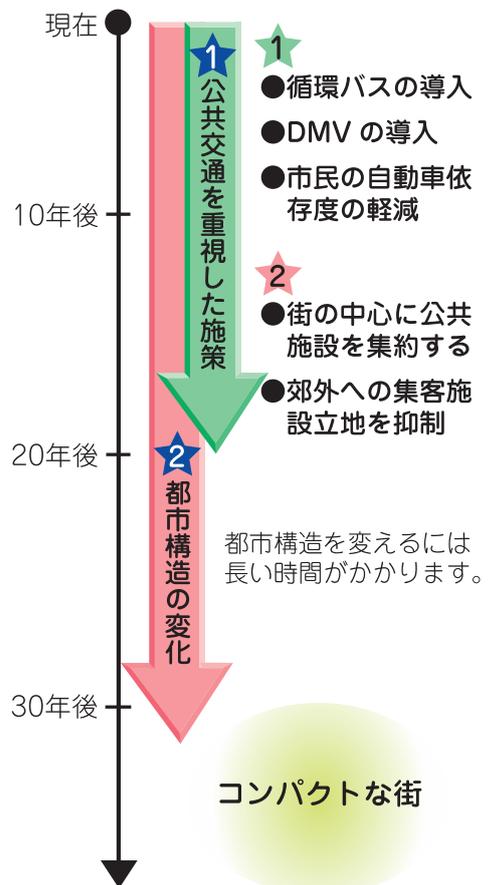
車両は、マイクロバスを改造したもので、車体の下から鉄の車輪を出し入れして、道路と線路を自由に行き来できる仕組みになっています。



道路も線路も走るバス



30年後の 目指すはコンパクトな街！



なぜ、DMVなのか

● 既存路線の有効活用

市内には、岳南鉄道や貨物用の線路があります。これらを有効活用すれば、多額の費用をかけずにDMVを導入できます。

● 乗りかえ不要で利便性が向上

分散している市の中心となる核（吉原・富士・新富士駅周辺）と、岳南鉄道沿線の既存市街地が乗りかえなしでつながること、利便性が向上します。

● 渋滞知らず！

将来、市の拠点は「新富士駅周辺」と位置づけていて、今後はこの拠点に人が多く集まることを想定しています。新富士駅周辺ではDMV専用の道を走ることになり、交通渋滞を避けることができます。

● 市の「身の丈」にちょうどよい

富士市は大都市ではありません。今、話題となっているLRT^{*}を導入した場合、専用のレールをつくらなければなりません。また、それほどの需要は見込めません。

DMVは、コスト・輸送量ともに、富士市の「身の丈」に合っています。

● ルート設定が自由

レールの上だけではなく、道路も走れるDMVは、地域に適した利用ができ、柔軟なルート設定が可能です。

※LRT…Light Rail Transitの略で、路面電車を近代化したもの。



市民も、公共交通に関心を持つべきですね

富士市公共交通協議会委員

田中 哲文さん（松岡）

私は、ふだんから、公共交通の不便さを感じていたので、公共交通協議会委員に応募しました。

私はいつも自動車通勤していますが、会社の近くにバス停がなく、車を利用しないと会社にたどり着くまでかなり時間がかかります。体調が悪くても運転しなければなりません。会社帰りに飲みに行くときや出張するときなどは、どうやって行こうかと考えます。

公共交通が便利になるには、市民が公共交通をもっと利用すればよいのですが、不便さを感じている今、利用する人は少ないですね。行政がいくら公共交通の利用者をふやす仕掛けをして

も、家から目的地まで運んでくれる自動車の便利さを捨てられる人は少ないと思います。でも、このままでよいとは思いません。健康や交通事故防止のためにも、公共交通を利用すべきです。

私は、広島や長崎など路面電車の街が好きです。公共交通が市民の生活の一部になっていて、街を行き交う人も多く、街の温かさを感じます。しかし、富士市はみんな自動車で目的地まで行くせいか、街を歩いている人ほとんど見かけません。

DMVの導入をきっかけに、多くの市民が公共交通に関心を持つようになればと考えます。

DMV導入をきっかけに、よりよい街をしくりたい

DMVは、街を変えるための一手段

都市計画課課長

真野 敏則

これから先10年、市の都市計画が目指すものは、だれもが住みやすい街です。そのためには、公共交通も重要な課題となっています。現在、自動車のおかげで、目的地まで自由に行けるようになりました。その一方で、公共交通を利用する人は減り、現状のままでは衰退するばかりです。

10年後、4人に1人は高齢者になります。自分で車を運転できなくなることもあるでしょうし、自動車で送り迎えしてくれる家族がいるとは限りません。そうなったとき、自動車がなくても安心だと思ってもらえる街にしたいと考えています。そのために私たちは、

赤字のバス路線を支援するなど、公共交通の維持に力を入れています。

DMVという交通手段を見つけ、富士市の公共交通に明るい光が見えてきたように感じます。DMVが東西方向の交通の軸となり、地域の特性に合う交通手段を組み合わせていけたらと考えています。しかし、DMVを走らせることが最終目的ではありません。DMVはあくまでよりよい街をつくる一手段です。そのことを皆さんにわかっていたいただきたいですね。年明けには、DMVのデモ走行を行いたいと考えています。富士市を走るDMVの姿が見られるのを楽しみにしててください。



皆さんも、この機会に公共交通について考えてみませんか？

市制40周年記念ミュージカル



Memory

～ロゼシアターのクリスマス★キャロル～

平成10年に始まった市民ミュージカルは、計6作品となり、参加者は延べ500人を超えました。ことしは市制施行40周年を記念して、「Memory～ロゼシアターのクリスマス★キャロル～」を上演します。過去の作品から厳選した曲と、オリジナルのストーリーで構成される、これまでの市民ミュージカルの集大成といえます。

小学生から50歳代までの市民約120人が、月組・星組・雪組となって、“感動”というクリスマスプレゼントを、すてきな曲にのせてお届けします。

▼ 開演時間

とき	🌙 月組	★ 星組	❄️ 雪組
11月30日	19:00～	—	—
12月1日	—	19:00～	—
2日	18:00～	—	14:00～
3日	—	11:00～	15:00～

とき 11/30 木 12/1 金 2 土 3 日

ところ ロゼシアター 中ホール

入場料 1,500円 (全席自由)

※未就学児の入場はできません。

ストーリー
 ときは、「第二次平成大不況」と呼ばれる近未来、主人公の女社長は、時代の中で心が病み、冷えきっていました。クリスマススイブの夜、3人の神(キリスト・釈迦・地獄の閻魔大王)は主人公に愛と夢と希望を与え、人間らしさを取り戻させようと企てます。神が見せてくれる過去の自分の姿や、人々の温かさによって、主人公は次第に優しい心を取り戻していくのでした…。



◀ 頑張って練習しています！

手づくりの温かさを感じられる舞台に

8年前、初の市民ミュージカルに出演して以来、その魅力にはまり、今まで続けてきました。大勢の参加者をまとめるのは大変ですが、練習を重ねるうちに、みんなのきずなが強まるのが感じられ、とてもうれしいですね。

舞台のセットや衣装など、すべてが参加者の手づくりです。みんな心から楽しんで演じますので、ぜひ見に来てください！



出演と、振付助手として指導をしている
富士 友紀子さん
 (鮫島)

チケット好評発売中！

申し込み・問い合わせ ロゼ・チケットセンター ☎60-2500

議長に

渡辺 敏昭 さん

としあき

9月20日の定例市議会で、議会の議長選挙が行われ、渡辺敏昭さんが選ばれました。

平成3年、富士市議会議員に初当選。4期当選。この間、文教民生、建設水道、総務企画、議会運営委員会委員長などを歴任。住所は、中里1402番地の1。昭和18年8月18日生、63歳。



第19回全国健康福祉祭しずおか大会 ねんりんピック静岡2006



奏でよう ふじのくにから 健康賛歌

10月28日(土) ~ 31日(火)

富士市では **水泳交流大会**

ところ **県富士水泳場**

29日(日)

9:00

開始式

30日(月)

9:30~15:00

競技

10:00~16:00 競技

15:00

閉会式

子どもからお年寄りまでみんなが楽しめる、ねんりんピックにぜひお越しください。当日、新富士駅～富士駅～市役所～県富士水泳場間を結ぶシャトルバスも運行されますのでご利用ください。
イベントやシャトルバスについて詳しくは、広報ふじ10月5日号と一緒に配布されるチラシをごらんください。

水泳交流大会のほかにも、「ふれあい交流広場」と名づけられた県富士水泳場西側の大駐車場では、健康づくり教室やステージでのアトラクション、地元物産品の販売なども行われます。

♪ 水泳だけじゃない

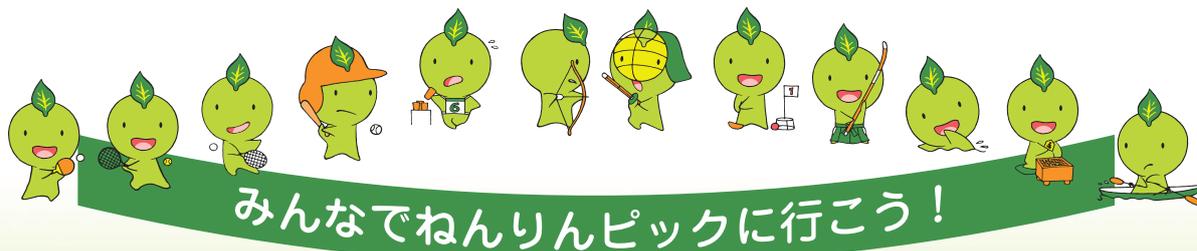
ねんりんピックは、60歳以上の高齢者を中心とする、スポーツ・文化・健康と福祉の祭典で、ことしは静岡県で開催されます。全国から約1万人の選手が参加し、23種目のスポーツと文化の交流大会が行われます。富士市で行われる水泳交流大会には、415人が参加。選手のほかにも、大会にはたくさんの方が参加し、大会を支え、盛り上げてくれます。

♪ いよいよ始まる

富士市からの静岡県代表選手 12種目45人

参加種目	氏名 (年齢)	参加種目	氏名 (年齢)	参加種目	氏名 (年齢)	
卓球	杉山 泰敏 (66)	弓道	土屋 深雪 (66)	水泳	三宅 恵子 (66)	
	伊賀 義和 (70)		山澤 榮 (64)		篠ヶ瀬 正子 (68)	
	高橋 峯佐尾 (63)		加藤 文子 (70)		穂坂 香 (74)	
	西田 王子 (60)		高木 亮 (65)		青木 恒 (69)	
テニス	山中 テルミ (66)	グラウンド・ゴルフ	西山 藤子 (68)		水泳(追加)	上原 雅志 (60)
	一尺八寸 光政 (65)	なぎなた	四ツ田 玲子 (64)			小貫 峻 (63)
	小松 春枝 (61)		山下 富子 (62)			鈴木 悟正 (64)
石川 延房 (62)	片桐 由紀子 (62)		稲葉 範子 (66)			
石川 明子 (63)	鈴木 幸枝 (73)		鹿野 律子 (70)			
遠藤 幸司 (73)	山口 永子 (67)		竹内 静枝 (73)			
ソフトテニス	石川 明子 (63)		水泳		増田 裕英 (61)	ボート
中島 康治 (72)	青柳 宏志 (72)	将棋			長津 竹雄 (63)	
山本 敏子 (62)	佐野 家弘 (67)	将棋(追加)		白井 正昭 (76)		
ソフトボール	飛奈 勝美 (60)			米山 勲 (75)	花田 由雄 (79)	
マラソン	加藤 暁 (65)		花畑 宣子 (63)	村上 恭造 (70)		

※敬称略



大会に携わる皆さんの声



水泳選手として平泳ぎ競技に参加
青柳 宏志さん(吉原5)

地元で行われる大会なので、頑張りたい！

水泳を始めたのは50歳のときです。運動不足を解消しようとして、子どものころにやっていた水泳を再開しました。

55歳のときには、水泳を定年後の生きがいにしていこうと、教える資格を取りました。今は、水泳教室の講師をしています。人に教えるとなると、説得力が必要です。自分の体をつくって、技術を見せられるよう日々努力しています。

大変そうに思われますが、好きな水泳をやっていると、幸せですね。

ねんりんピックへの出場が決まり、皆さんから熱い声援をいただいています。生徒や観客の皆さんに頑張っている姿を見せたいと思っています。大勢の皆さんに、会場へ来ていただきたいですね。



ボランティアとして参加
小山 絵美理さん
(宇東川西)

たくさんの人とふれあいたい！

私は高校2年生のときにも、NEWSわかふじ国体にボランティアとして参加しました。

一緒に活動した人たちは先輩の人が多く、最初は戸惑いでしたが、皆さんからいろいろ教わったり、選手や観客などたくさんの人とふれあえたりしたことが楽しかったですね。

ボランティアに参加するまでは、道や駅で人が困っている、声をかけるのが苦手でした。でも、今では戸惑うことなく声かけができるようになり、活動を通して、自分が成長できたように感じます。

ねんりんピックのボランティアの話聞いたとき、ぜひ参加したいと思いました。

今回も多くの人との出会いを通して、自分が成長できることを楽しみにしています。



選手へのプレゼントづくりに参加
吉野 早苗さん(水戸島1)

富士市を訪れる皆さんに喜んでもらいたい！

私は、選手へプレゼントする、紙バンドのフクロウづくりに携わりました。これは、7つの公民館で行われている成人講座で手分けをしてつくりました。そのほかの手づくり品やそれらの袋詰めには、別々の団体が携わっています。一つのプレゼントに、たくさんの方の手が加わっています。私たちがつくった紙バンド作品を手にする皆さんに喜んでもらえたらうれしいです。それに、紙バンド作品を通じて、地場産品である紙をPRできたらいいですね。

実は、今までねんりんピックという大会があることを知りませんでした。今回は、母も水泳選手として出場することになったんです。大会当日は、応援に行こうと思います。

選手への
プレゼントづくり



いろいろなイベントで
ねんりんピックをPR



問い合わせ

生きがい福祉課

☎55-2894

☎53-7701

富士山百景写真コンテスト

第2回

市内から見える、雄大な富士山。さまざまな表情を見せる富士山を撮影し、写真を応募してみませんか？

第1回コンテスト
グランプリ作品



「富士山と風景」部門
タイトル 綿帽子／撮影者 木下 安雄さん

市は、「富士山百景」事業として、「富士山のまち富士市」の自然、文化、暮らしの魅力の掘り起こしを行っています。多くの人にこの事業を知っていただくために、富士山百景エリアを対象にした写真コンテストを実施します（天間北・今宮・大淵一丁目・愛鷹連山・富士山登山道の6つのエリアを新たに追加）。



「人々と富士山」部門
タイトル 吹雪／撮影者 甲田 整美さん

▼募集写真

※平成18年1月21日～平成19年1月20日の間に富士市内で撮影したもの

◎コンテスト部門

「富士山と風景」部門
富士山とその前景となる風景を中心とした写真

「人々と富士山」部門

生活、産業、祭りなど、そこで暮らし、活動する人物を中心とした写真（富士山を必ず入れる）

◎エキシビジョン部門

富士山は写っていないが、富士山を感じさせる祭りやイベントなどの写真や、富士山を題材とした創作作品

▼サイズ（いずれもカラー・白黒）

◎コンテスト部門

四つ切・四つ切ワイド・A4サイズ

※組写真は受け付けません。

◎エキシビジョン部門

自由（最大297ミリ×630ミリ）

▼賞

グランプリ 各部門1点 賞金30万円

※このほか、部門別に金賞・銀賞・銅賞などがあります。

▼審査員

「富士山と風景」部門 竹内 敏信さん

「人々と富士山」部門 外山 ひとみさん

▼募集期間

12月1日～平成19年1月31日（消印有効）

◎詳しくは、商業労政課または各公民館にある応募チラシや、下記ホームページをごらんください。

作品送付先
問い合わせ

〒417-8601 富士市役所商業労政課「富士山百景写真コンテスト」係

☎55-2777 ☎51-1997 ✉sy-syougyou@div.city.fuji.shizuoka.jp

🌐http://www.e-phi.info/fuji100/（富士山百景応援サイト）

商工フェア

11月4日(土)・5日(日)

10時～16時 ※雨天決行

中央公園イベント広場

◆移動ミニ動物園

うさぎやハリネズミなど、かわいいミニ動物がやってきます。



◆富士ブランドPR・販売コーナー

食料品や紙製品など、富士ブランド認定品のお披露目と販売を行います。

◆商工フェア大抽せん会

抽せん地元産品をプレゼント。

◆ペーパーランド

牛乳パック20枚でトイレットペーパー1個と交換します。

◆トイレットペーパー積み上げコンテスト

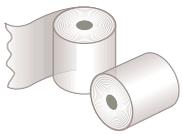
◆お買い物天国・縁日食い道楽コーナー

◆企業の展示・相談コーナー

◆働く車大集合

◆ステージイベント

※詳しくは、前日11月3日(金)の新聞折り込みチラシをごらんください。



問い合わせ

商工フェア実行委員会(富士商工会議所)

☎52-0995

☎52-9796

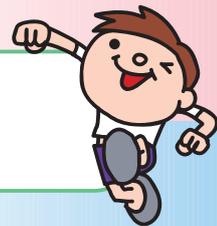
商業労政課

☎55-2907

☎51-1997

★富士市産業まつりへ行こう！抽選会があるよ★

商工フェア・農林水産フェアでは、抽せんですてきな賞品が当たります。左端の券を切り取り、当日お持ちください(抽せんは1人1枚1回限り)。



農林水産フェア

11月5日(日)

8時30分～12時30分

※雨天決行

公設地方卸売市場

市場開設30周年記念

◆農業コーナー

▽農産物品評会出品物展示、即売(11時～)
▽フラワーアレンジメントの展示
▽富士の鶏・お米パンの販売 など

◆林業コーナー

▽親子木工教室 8時30分～(無料・当日先着50組)
▽富士ひのきペン立て無料配布(先着100人) など

◆市場コーナー

▽マグロの解体ショーと試食・販売
▽野菜・水産物の販売
▽富士の巻狩鍋・海鮮鍋の無料試食 など

▽親子かんたんお魚料理教室 10時～

※参加者を募集します。

10月20日(金)の9時から申し込みを受け付けます。

電話で公設地方卸売市場へ(無料・先着15組)

◆お楽しみコーナー

▽投げもち(10時～12時)

▽お楽しみ抽せん(先着1000人まで)

◆その他のコーナー

▽協賛団体による協賛品の販売

▽授産所の手づくり品の販売 など



問い合わせ

農林水産フェア実行委員会(公設地方卸売市場)

☎53-5611

☎53-5613

商工フェア大抽せん会参加券
中央公園イベント広場
抽せんは1人1枚1回限り
平成18年11月4日・5日

農林水産フェア整理券引きかえ券
公設地方卸売市場
抽せんは1人1枚1回限り
先着1,000人まで
平成18年11月5日

里親になりませんか？
～10月は里親月間です～

児童福祉課 ☎55-2763

- 温かい家庭生活を子どもに提供する里親を随時受け付けています。
- 養育里親 子どもが自立できるまでの期間を養育
 - 親族里親 三親等以内の親族が養育
 - 専門里親 虐待を受けた子どもを2年以内で養育
 - 短期里親 夏・冬休み、連休などの短期間、子どもに家庭生活の環境を提供
- 問い合わせ 児童福祉課または県東部児童相談所 ☎055-920-2083

講座教室

ぜん息講演会

～息苦しさの仕組みとその対処法～

保健医療課 ☎64-9026

- とき 10月30日(月) 13:30～15:30
ところ フィランセ西館4階大ホール
内容 講義、実技(呼吸筋ストレッチ体操など)
講師 柿崎藤泰さん(文京学院大学保健医療技術学部助教授)
参加費 無料
申し込み 当日直接会場へ
※体操のできる服装でお越しください。

吉原商業高校 学校開放講座

吉原商業高校 ☎34-1024

- ①簿記 ②ワード入門
③エクセル入門 ④画像処理入門
…①～④とも…
- とき 11月6日～28日の指定日(10日間) 18:30～20:30
ところ 吉原商業高校
対象 社会人(学生不可)
定員 ①④各20人、②③各30人(各応募者多数の場合抽せん)
受講料 ①②③2,500円、④3,000円(教材費、保険料)
申し込み 10月19日(木)・20日(金)の8:30～18:00に、直接吉原商業高校へ

音楽と楽しむ

おいしいコーヒーの入れ方教室

りぶす富士(ラ・ホール富士) ☎53-4300

- とき 11月7日(火)・8日(水)・9日(木) 各19:00～21:00
ところ ラ・ホール富士2階「喫茶ラ・ホール」
講師 高村巖さん(スペシャリティーコーヒー会員)
演奏 トリオ・ザ・グレイシス
定員 各20人(応募者多数の場合抽せん)
参加費 300円(軽食・お土産つき)
申し込み 10月31日までに、直接または電話・FAXでラ・ホール富士へ ☎53-2040

第2回 りぶす富士杯争奪フットサルトーナメント大会



「冬の陣」参加チーム募集

りぶす富士(市立富士体育館) ☎53-0900

- とき 12月10日(日)
ところ 市立富士体育館
対象 中学生以上の男女で、チーム内に市内在住・在勤・在学の人を含む8人のチーム(控え選手3人含む)
定員 32チーム(応募者多数の場合抽せん)

- 参加費 1チーム8,000円(保険料含む)
申し込み 11月12日(日)の8:30～9:00に、参加費を持参し、市立富士体育館へ
※上位8チームは、12月17日(日)開催予定の「チャンピオンシップトーナメント」への参加資格を獲得できます。

10月の水道料金・下水道使用料

お客様センター ☎55-2846

- ～納入は便利で確実な口座振替で～
申し込み 直接、市指定金融機関の窓口へ
持ち物 通帳・印鑑(届印)・水栓番号(各世帯配付の「使用水量等のお知らせ」に記載)

- 納入期限 10月31日(火)
(納入通知書は、今月中旬に郵送します)
○口座振替日 10月30日(月)



催し

博物館芸術まつり

市立博物館 ☎21-3380

- とき 11月3日(金) 文化の日
10:00～14:30(雨天決行)
ところ 市立博物館・ふるさと村歴史ゾーン
内容 市立博物館無料開放、わらじづくり・手すき和紙・機織り・陶芸・型染めの実演体験など



市制40周年記念特別展
富士山ゆかりの名品展

市立博物館 ☎21-3380

- とき 10月28日～11月26日(毎月曜日、11月7日(火)・24日(金)は休館)
ところ 市立博物館特別展示室ほか特別展の3大テーマ
★富士を語る～竹取物語の世界
★富士を敬う～富士山信仰の世界
★富士を形どる～富士山を題材にした工芸品
内容 テーマにちなんだ歴史・美術資料(計110点余り)の展示、富士山の世界文化遺産への登録に向けた取り組みを紹介する展示など
入館料 大人100円 小・中学生50円

これからの地域情報発信型
ほっとステーション「まちの駅」
～新しい仲間がふえて40駅に!!～

10月21日から、各まちの駅で記念イベントを実施します。お気軽にお越しください。



詳しくは、市ホームページをごらんいただくか、商業労政課へお問い合わせください。

問い合わせ 商業労政課 ☎55-2777



←イベント会場となる各まちの駅は、この「のぼり旗」が目印です!!

整理券引きかえ券(うら画)
詳しくは前ページ「農林水産フェア」のお知らせをごらんください

暮らしの たより

お知らせ

東海地震に備え 無料耐震診断を受けましょう！

建築指導課 ☎55-2903

下記の本造住宅を対象に、無料耐震診断を実施します。訪問する推進委員は、“プロジェクトTOUKAI-0「わが家の専門家診断」身分証明書”を携帯しています。

ご理解・ご協力をお願いします。

対象世帯 昭和56年5月以前の旧建築基準で建てられた木造住宅

問い合わせ 建築指導課または建築士会富士支部 ☎54-1872

保育士の登録は済んでいますか？ ～至急、登録手続きをしましょう～

児童福祉課 ☎55-2762

今後、保育士として働くためには、県への登録が必要です。

対象 保育士として働いている人、これから保育士として働くこととする人

登録期限 11月28日まで

問い合わせ 児童福祉課または登録事務センター ☎03-5485-3150
☎http://www.hoikushi.jp

「明るい暮らしの家計簿」を 無料配布します

市民生活課 ☎55-2750

配布冊数 150冊(応募者多数の場合抽せん)

対象 市内在住で、市民生活講座(11月20日(月)、12月8日(金))各10:00～12:00のどちらかに参加できる人

申し込み 11月5日(消印有効)までに、往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、希望理由、講座参加希望日を記入し、〒417-8601富士市役所市民生活課へ

10月の教育委員会会議

10月定例会を次のように開催します
(傍聴できます)

とき 10月17日(火) 14:30～

ところ 大淵中学校

教育総務課 ☎55-2865

富士市同報無線 個別受信機貸与事業

障害福祉課 ☎55-2911

重度の視覚障害がある人へ、地震などの災害情報を迅速・正確に伝達するため、同報無線個別受信機を貸与します。

対象 市内在住の身体障害者手帳を交付された重度視覚障害者で、単身・視覚障害者のみの世帯など

費用 無料(維持管理・設置後の移設にかかる費用などは自己負担)

申し込み 10月31日までに、申請書(障害福祉課で配布)に必要な事項を記入し、直接またはFAXで障害福祉課へ ☎53-0151

平成19年 富士市成人式

生涯学習課 ☎55-2873

とき 平成19年1月7日(日)
受付13:30～ 開式14:00～

ところ ロゼシアター大ホール

対象 市内在住の昭和61年4月2日～昭和62年4月1日に生まれた人

★市外に転出している人は、事前の受け付けが必要です(電話申し込み可)。

受付期間 11月1日から

受付窓口 生涯学習課

募 集

“選挙”のキャッチフレーズ(標語)

選挙管理委員会 ☎55-2879

応募資格 県内在住の人

応募方法 10月31日(必着)までに、はがきまたはFAX・Eメールに住所、氏名(学生は学校名と学年)、選挙に関するキャッチフレーズ(25文字以内の未発表作品)を記入し、〒420-8601 静岡県選挙管理委員会へ

☎054-221-2050 ☎054-221-2776

✉sigyousei@pref.shizuoka.lg.jp



富士市コールセンター

おしえてコールふじ

☎53-1111

富士市立図書館の在り方検討委員

中央図書館 ☎51-4946

市立図書館のサービス・経営などについて審議し、今後のあり方について検討するための委員の一部を公募します。

任期 11月～平成20年3月(会議は今年度3回、平成19年度4回を予定)

報酬 1回につき5,000円

応募資格 市内在住・在勤の18歳以上の人

募集人数 2人(応募者多数の場合、書類選考)

応募方法 10月31日(必着)までに、住所、氏名、生年月日、電話番号、「これからの図書館に望むもの」と題した作文(400字程度)を添えて、直接または郵送・FAXで、〒417-8515 中央図書館へ(Eメールも可) ☎51-7135

✉library@div.city.fuji.shizuoka.jp

放課後児童クラブ 指導員・指導員補助・アルバイト

児童福祉課 ☎55-2731

児童クラブで小学生と放課後や学校休業日(土曜日、春・夏・冬休み)と一緒に過ごす指導員・指導員補助・アルバイトを募集します。

★大淵児童クラブ(大淵第一・第二小学校区)指導員

対象 65歳未満の人(性別不問)

申し込み 大淵公民館 ☎35-0002

★小木の里子どもクラブ(富士第二小学校区)指導員補助・アルバイト

対象 65歳未満で週2・3日以上勤務できる人(性別不問)

賃金 時給850円(指導員補助)

時給800円(アルバイト)

申し込み 小木の里子どもクラブ ☎61-1114 (14:00～19:00)

児童手当の振り込みを ご確認ください

児童手当の10月期(6月～9月分)を、10月10日に受給者の口座に振り込みます。ご確認ください。

問い合わせ

児童福祉課 ☎55-2763

認知症予防講座

高齢者介護支援室 ☎66-3405

と き・ところ (各13:30~15:00)
 10月25日(水) 吉永公民館
 10月31日(火) 富士北公民館
 11月1日(水) 丘公民館
 内 容 講話「認知症予防の大切さ」、
 脳いきいき体操、認知症の
 正しい理解と接し方、ゲー
 ムなど
 受講料 無料
 申し込み 当日直接会場へ
 ※駐車場には限りがあります。

看護職再就業準備講習会

～最近の医療・看護状況を学んでみませんか?～
 中央病院看護部 ☎52-1131

施設名・実施日 (各9:00~16:00)
 ①中央病院 (高島町)
 11月15日(水)・16日(木)・29日(水)
 ②訪問看護ステーションけいあい (南町)
 11月20日(月)・21日(火)
 ③湖山病院(大淵)・みゆきの苑(富士宮)
 11月21日(火)・22日(水)
 ④鷹岡病院 (天間)
 11月27日(月)・28日(火)
 内 容 ①で講義、②~④のいずれ
 かで実習 (計5回)
 定 員 20人 (応募者多数の場合抽
 せん)
 申し込み 11月2日 (消印有効) まで
 に、はがきまたはFAX・Eメールに、
 希望施設名 (②~④)、職種、住所、
 氏名、年齢、性別、電話番号、洋服
 のサイズ (S・M・Lなど) を記入し、
 〒410-0055 県ナースセンター東部
 支所へ ☎・☎055-920-2088
 ■numazu@nurse-center.net

市民れんらく版

★富士TMO 富士健康印商店会
 健ブリッジ大学祭「リラク祭」
 と き 10月22日(日) 10:00~15:30
 ところ 富士市民センター跡地南側
 (歩行者天国) 特設ステージ
 内 容 豪華賞品 (旅行券5万円、
 ニンテンドーDSなど) が当たるス
 タンプラリー、健康クイズ、ア
 ートファッションショーなど
 ※大学祭前日 (18:45~)、JR富士駅
 北口エントランスにて前夜祭を実
 施します。
 問い合わせ 富士TMO事務局(富士
 商工会議所内) ☎52-0995

★高齢者無料奉仕治療
 と き 10月22日(日) 9:00~12:00
 ところ 鷹岡市民プラザ
 対 象 市内在住の60歳以上の人
 問い合わせ 富士鍼灸マッサージ師
 会 川原 方 ☎21-1210

★東海道・吉原宿 宿場まつり
 と き 10月21日(土) 11:00~18:00
 ところ 吉原本町通り (歩行者天国)
 内 容 チャリティーもちつき、大
 道芸、ミニ縁日、よさこい
 流し踊り、鬼太鼓座の公演、
 紙の時代衣装パレードなど
 問い合わせ 吉原宿宿場まつり実行
 委員会 (吉原商店街振興組
 合内) ☎51-5227

★こころのボランティア講座(無料)
 と き 11月15日~平成19年1月15
 日の指定日 (6日間)
 ところ フィランセ東館3階ボラン
 ティアルームほか
 内 容 講義と施設の見学・実習
 対 象 心の病気を持つ人のボラン
 ティアに関心がある人
 申し込み 事前に電話で、富士保健
 所へ ☎65-2155

東名高速道路の夜間通行止めについて ご協力をお願いします

夜間通行止め期間 (区間)
 ①11月11日(土)19:00~12日(日) 7:00
 (富士I.C.~清水I.C.の上下線)
 ②11月18日(土)19:00~19日(日) 7:00
 (御殿場I.C.~沼津I.C.の上下線)
 ※荒天の場合、翌日に順延します。
 問い合わせ(土・日除く8:50~17:20)
 ①中日本高速道路(株)清水工事事務所
 ☎0543-71-0550
 ②中日本高速道路(株)沼津工事事務所
 ☎055-926-7100

市立看護専門学校学生祭 第14回 紫苑祭

★演奏会
 10月27日(金) 13:30~15:00
 ゴスペル歌手の井手秀子さん
 (レオミュージックファクトリー)
 ★校内イベント
 10月28日(土)
 10:00~15:00
 学習発表、バザー、
 模擬店など
 問い合わせ
 市立看護専門学校 ☎64-3131



10月の休日当直医

Emergency Hospitals Schedule in October
 Lista de Pronto Socorro em Outubro

〈内科・小児科・外科〉 Internal Medicine/Pediatrics/Surgery Clinica Geral/Pediatria/Cirurgias
 救急医療センター ☎51-0099 津田 平日19:00~翌8:00 土曜日14:00~翌8:00 日曜・祝日 9:00~翌8:00

〈歯科〉 Dentistry Dentistas
 歯科医師会館 ☎53-5555 伝法 日曜・祝日9:00~16:00
 ダイヤル当直医案内 ☎51-9999

とき 産婦人科 Gynecology & Obstetrics
 Gineco-Obstetrica
 8(日) 宮崎クリニック 66-3731 松岡
 9(月) 長谷川産婦人科医院 53-7575 吉原5
 15(日) 池田産婦人科医院 21-2228 石坂
 22(日) ロゼディースクリニック 60-5747 蓼原町
 29(日) 望月産婦人科医院 34-0445 西比奈

眼科 Ophthalmology
 Oftalmologia
 安藤眼科医院 (0544) 26-8833 富士宮
 つるが眼科医院 63-1090 水戸島町
 渡辺クリニック 22-1500 富士見台
 芦川病院 52-2480 中央町2
 中西眼科クリニック 36-1800 中野

耳鼻科 Otorhinolaryngology
 Otorrinolaringologia
 よねやま耳鼻科医院 53-6885 永田町1
 芹沢クリニック (055) 993-8000 裾野
 三島クリニック (055) 935-6681 沼津
 沼津市立病院 (055) 924-5100 沼津
 里和耳鼻咽喉科医院 23-1133 伝法

10月の接骨師会 休日当直当番



柔道整復 Bonesetter
 Clinica de osteopatia
 岩山接骨院 33-1751 鈴川町3
 朝岡接骨院 52-2876 今泉1
 本市場もちつき接骨院 62-4754 本市場
 駅南望月整骨院 61-3405 横割本町
 名倉堂接骨院 63-5554 本市場

暮らしの たより

講座教室

医療推進市民講座

～胸痛と病氣…その胸の痛みは大丈夫?～

保健医療課 ☎64-9026

とき 11月9日(木) 14:00～15:30

ところ フィランセ西館 2階視聴覚室

講師 武田博ひろ (武田ハートクリニック院長)

定員 60人

受講料 無料

申し込み 当日直接会場へ

青少年センター 青年教養講座

～手打ちそばづくり～

青少年センター ☎21-6129

とき 11月9日(木)・14日(火)

19:00～21:00 計2回

ところ 青少年センター

対象 市内在住・在勤の昭和50年

4月2日～平成3年4月1日に生まれた人(中・高校生除く)

定員 12人(先着順)

材料費 1,400円

受講料 無料(ただし、平成18年度初受講者は、保険料250円と利用会費500円が必要)

申し込み 10月23日(月)の9:00から受け付けます。材料費などを持参し、青少年センターへ

心が軽くなる NP子育て支援講座

～完璧な親なんていない!～

児童福祉課 ☎55-2763

とき 11月1日～12月20日 毎週

水曜日 10:00～12:00 計8回

ところ フィランセ東館 4階育児研修室ほか

対象 1～3歳の子どもを持つ母親で、全日程に参加できる人

定員 10人(先着順)

講師 望月由妃ゆき子こ (カナダ政府認定Nobody's Perfectファシリテーター)

受講料 2,000円(テキスト代)

申し込み 10月20日(金)の8:30から受け付けます。電話で児童福祉課へ

※託児あり(要予約・無料、託児に必要なものは持参)。

富士市起業家支援セミナー

～起業家の芽を育てます!～

工業振興課 ☎55-2779

とき 11月7日～12月19日 毎週火曜日(11月22日のみ水曜日) 19:00～20:30 計7回

ところ ロゼシアター第1会議室

対象 市内在住・在勤・在学の人で、市内で起業を考えている人

定員 60人(先着順)

受講料 無料

申し込み 10月20日(金)から受け付けます。はがきまたはFAXに住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入し、〒417-8601 富士市役所工業振興課へ ☎51-1997

～がんばれ後継者!～ 次世代経営者育成セミナー

工業振興課 ☎55-2779

とき 11月23日(木) 勤労感謝の日 10:00～17:00、11月25日(土) 13:00～17:00 計2回

ところ 富士商工会議所 4階会議室

対象 市内の若手後継者・経営者

定員 20人(先着順)

受講料 無料

申し込み 10月17日(火)から受け付けます。申込書(工業振興課、金融機関、富士商工会議所などで配布。市または富士商工会議所ホームページからダウンロードも可)に必要事項を記入し、直接またはFAXで富士商工会議所経営相談課へ ☎52-0995 ☎52-9796
※富士商工会議所と共同で開催。

文芸あれこれ講座 チャレンジ21

～文芸についての講義・実践～

文化振興課 ☎55-2874

とき 11月11日・18日・25日 各土曜日 13:30～15:30 計3回

ところ ロゼシアター 4階会議室・和室

講師 丸茂湛祥たんしょう (本蔵寺住職)ほか

対象 16歳以上の人

定員 60人(先着順)

受講料 1,000円(テキスト代など)

申し込み 10月16日(月)から受け付けます。電話またははがき・Eメールに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒417-8601 富士市教育委員会文化振興課へ

✉ky-bunkashinkou@div.city.fuji.shizuoka.jp

りぶす富士陸上教室

～陸上競技における基本的な動作～

りぶす富士(温水プール) ☎36-2131

とき 11月11日(土) 14:00～16:00

ところ 富士総合運動公園陸上競技場

講師 高野進しん (東海大学体育学部助教授)

定員 80人(先着順)

受講料 無料(保険料含まず)

※保険の加入は、各自で対応してください。

申し込み 10月20日(金)から受け付けます。申込用紙(温水プール、陸上競技場、市立富士体育館で配布)に必要事項を記入し、直接またはFAXで温水プールへ ☎35-5464

パソコン・エアロビクス教室・ラジコンヘリコプター操縦講習会

りぶす富士(ラ・ホール富士) ☎53-4300

講座・教室名	と き	と ころ	回数	定員	受講料	
パソコン教室	エクセル初級	12月5日～平成19年1月11日 毎週火・木曜日 10:00～12:00	ラ・ホール富士 7階 OALーム	8回	各20人	8,500円(テキスト代含む)
	ちょっとお得なエクセル初心者	12月4日～平成19年3月12日 毎週月曜日 13:00～15:00		12回		1万円(テキスト代含む)
レッツ!エアロビクス教室	12月6日～平成19年2月21日 毎週水曜日 午前(10:00～11:30) 夜間(19:00～20:30) 12月7日～平成19年2月22日 毎週木曜日 夜間(19:00～20:30) 12月8日～平成19年2月23日 毎週金曜日 夜間(19:00～20:30)	ラ・ホール富士 4階 軽体育室	10回	各35人	5,000円(保険料含む)	
ラジコンヘリコプター操縦講習会*	12月10日(日) 9:00～12:00	ラ・ホール富士 7階 OALーム	1回	20人	3,000円	

※パソコンの最新操縦シミュレーターを使い、ラジコンヘリコプターの操縦を楽しめます。

申し込み 11月6日(月)～12日(日)の9:00～20:30に、直接ラ・ホール富士へ(1人につき1人分の代理申し込み可。応募者多数の場合抽せん)

あれから40年…



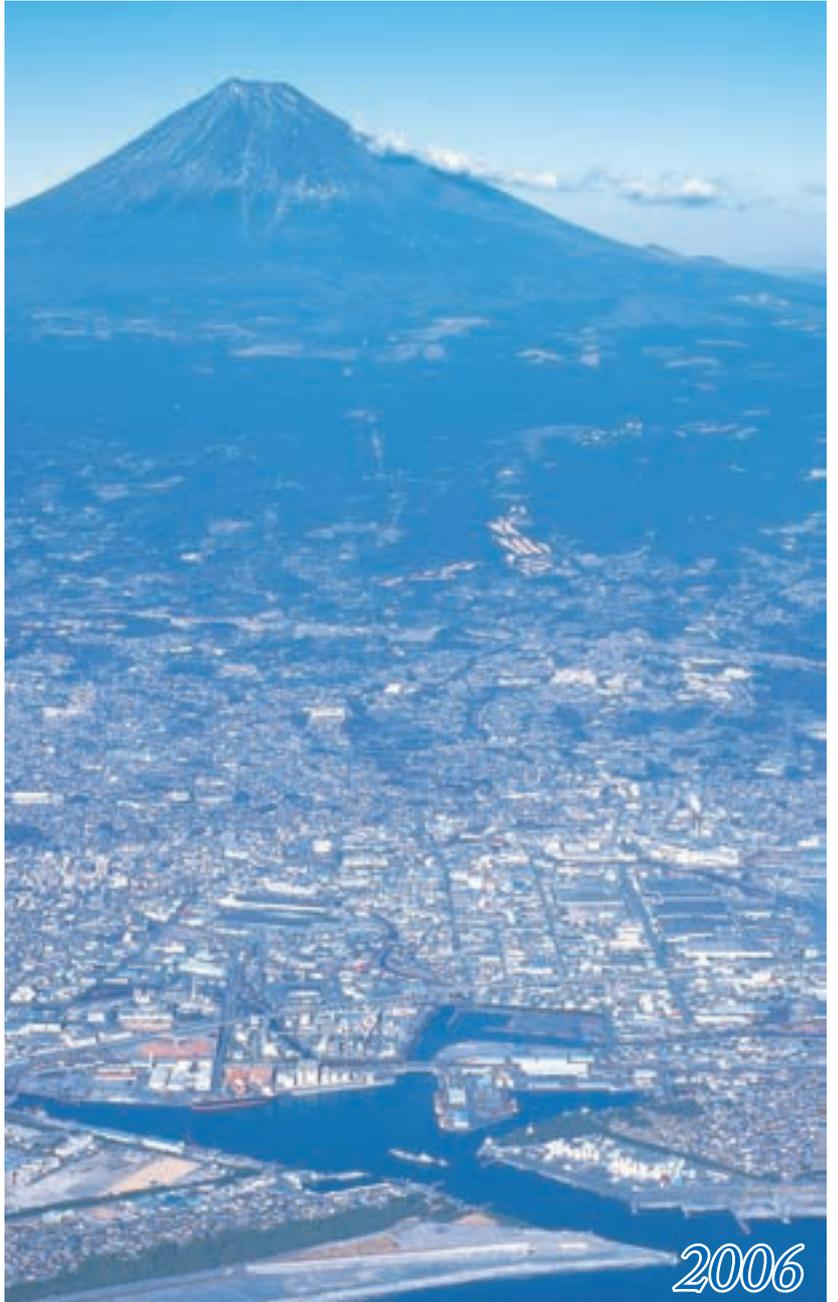
富士まつり (青葉通り)



現在の市庁舎



現在の眺峰館 (広見公園内)



2006

平成18年10月5日号
(毎月5日・20日発行)

こちら編集長

広報ふじ創刊号は、昭和41年11月25日に発行されました。そのときの第一面のタイトルは、「新富士市スタート」。当時の紙面からは、誕生して間もない新市にかけける人々の情熱と意気込みがひしひしと感じられます。一方で、自分の身の回りを眺めてみると、40年変わらずに存在

するものが余りに少ないことに愕然とします。また、何げなく捨ててしまったものが、今となっては取り返しのつかない貴重なものとなっていることも数多くあります。移り行く時の重さとともに、郷土の歴史・文化を、大切に未来へ伝えたいと改めて思いました。(タ)

人口 243,429人 (前月比+20)
 男 120,963人 (-18)
 女 122,466人 (+38)
 世帯 87,993世帯 (+24) 9月1日現在
 編集・発行 富士市総務部広報広聴課
 〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
 ☎0545-51-0123(代) ☎0545-51-1456



ホームページ <http://fujishi.jp/>

広報ふじは環境に優しい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています

広報 **ふじ**

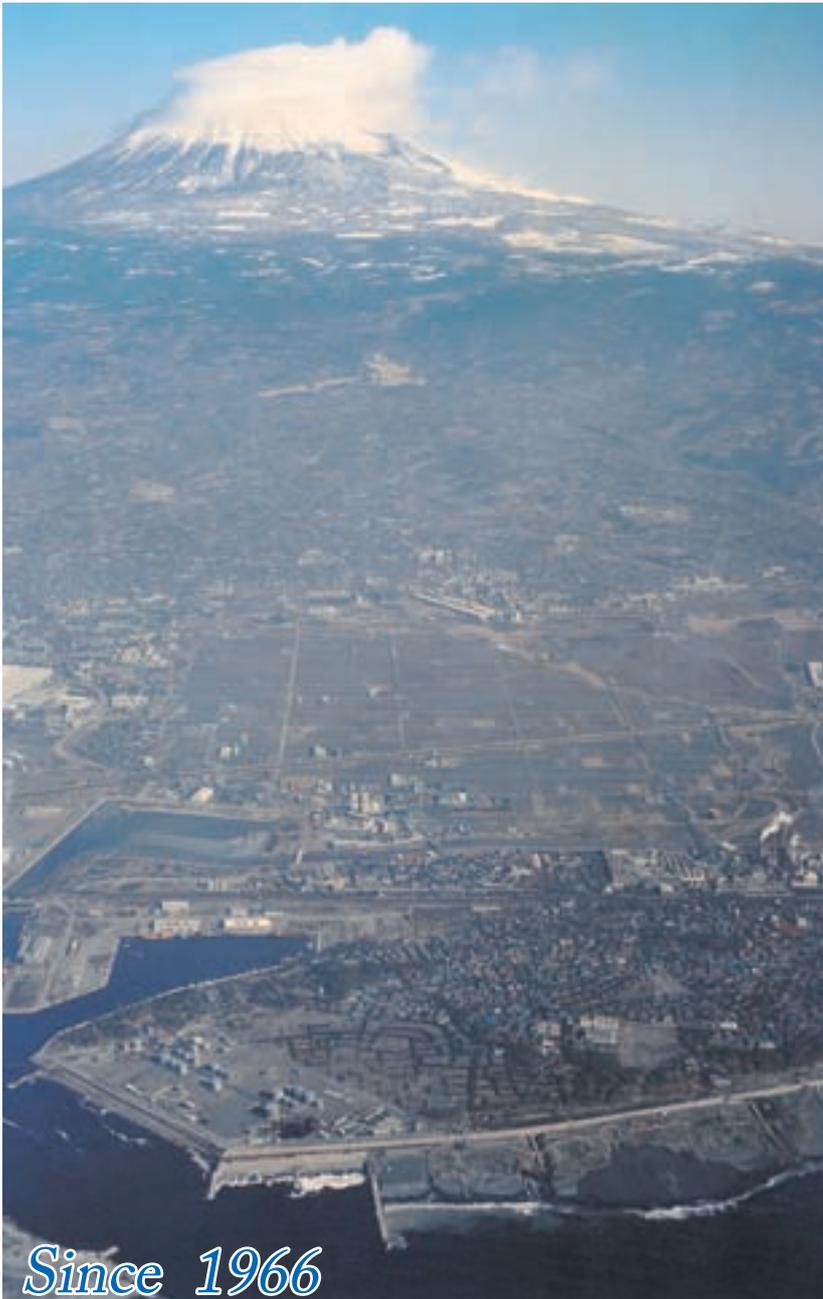


富士市制40周年

記念特集号

平成18年

10 | 5 No.903



Since 1966



富士まつり (富士本町)



完成直後の市庁舎 (昭和45年)



眺峰館 (吉原本町通り)

主な内容

富士市はことしで40歳

名誉市民に齊藤滋与史氏

川口能活選手インタビュー

DMVでコンパクトな街づくり ほか

ねんりんピック静岡2006

10月28日(土)~31日(火)

29日(日)・30日(月) 水泳交流大会 (県富士水泳場)



おしえてコマルふじ

☎ 53-1111